



私が見た中国キリスト教会

著者	渡辺 祐子
雑誌名	明治学院大学教養教育センター附属研究所年報 : synthesis = The annual report of the MGU Institute for Liberal Arts
巻	2014
ページ	15-19
発行年	2015-03-31
URL	http://hdl.handle.net/10723/2432

私が見た中国キリスト教会

渡辺 祐子

はじめに

昨年8月から12月にかけて、大連、武漢、南京、上海、香港に滞在。その間以下の4種のキリスト教会の礼拝に出席。

- ①公認教会（三自愛国教会=登記教会。武漢、南京、上海）
- ②公認されている外国人礼拝（大連、武漢、上海。中国人の出席は許されていない。香港、台湾人はOK）
- ③家庭教会（山東省濰坊。エリック・リデルが収容されていた元日本軍集中營を見学した際。訪問のみ）
- ④もと家庭教会。登記したばかりの教会（武漢市洪山教会。武漢滞在中はほぼ毎週通う）

中国のキリスト教概況

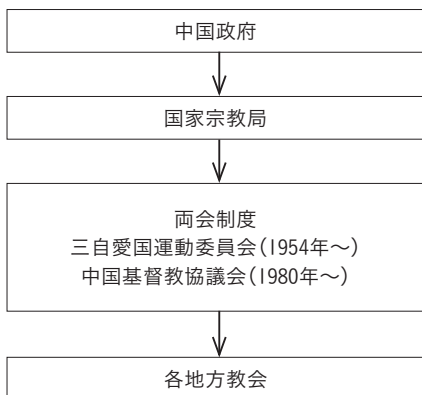
中国社会科学院年次報告書（『宗教青書』2010年）：プロテスタント数2305万人。非公認教会の信徒を含めると最も多く見積もって1億3000万。

パドュー大学社会学教授楊鳳崗：2025年には1.6億人に達し、世界最大のキリスト教国家に。

現在中国の5大宗教、仏教、道教、プロテスタント、カトリック、イスラム教のうち、信徒数が増加し続けているのは、仏教とプロテスタント。そのうちプロテスタントが集中しているのは、河南、浙江、福建、安徽、江蘇。十字架強制撤去で話題の浙江省温州は「中国のエルサレム」と呼ばれ、市内には1000を超す教会堂が建ち、人口の15パーセントがキリスト教徒ともいわれる。今年の2月末以降、浙江省では温州、杭州等各地で二百数十もの十字架が撤去され（8月時点での情報）、一部教会も取り壊された。

1. 公認教会(登記教会)について

1) 公認教会とは



1950年「中国基督教在新中国建設中努力的途径」いわゆるキリスト教の「革新宣言」。キリスト教指導者が周恩来との3回の会合の未発表。その後この宣言文の半強制的な署名活動が広がる。一部福音派の牧師は断固拒否。
1954年 「中国基督教三自愛国運動委員会」設置。
1955年 王明道逮捕。
1958年 大躍進。教会員数急激に減少。

1979年 上海のプロテスタント教会沐恩堂で礼拝復活
1980年 中国基督教協議会設立
1989年 天安門事件

北京市基督教两会、温州基督教两会など、
全国に24の两会組織がある

中国基督教協議会のHPより

「三自愛国運動委員会は中国のキリスト教徒の土着化運動を支え、これを推進するために、自治、自伝、自養の三自を実行し、海外のキリスト教会との服属関係を断ち切り、中国キリスト教の独立を実現する組織である。三自運動は、政府当局の代表を通して中国政府の監督を受け、教会の完全なる中国化を目指すものである。同委員会には政府当局の人間も含まれているので、完全な宗教組織ではなく、半自律的な組織ということになる。また基督教協議会はキリスト教の社会組織で、中国各地の教会相互の横のつながりや協力関係を管轄している。」 <http://www.chinesechristianchurch.org.cn/church/church-14.html> (2014/11/6)

「三自教会」は教派ではなく、神学的な教会論、職制もない。Faith and Orderは問題にならない。→「教会」と言えるのか？という根本的な疑問。

2) 公認教会をどう評価するか

- ①政府 和偕社会実現への寄与を期待。善良な公民としてのキリスト教徒。
- ②体制内改革派 王艾明（金陵神学院副院長）市民的責任、神の公義の実現を主張。
- ③家庭教会穏健派 守望教会（北京）、秋雨之福教会（成都）
- ④家庭教会急進派 方舟教会（北京） 余傑→アメリカに事実上の亡命。

②と③の境界は極めてあいまいで相互の交流も盛んだが、余傑の共産党批判、三自愛国教会批判が際立っているのがこのように分類してみた。

2. 家庭教会について

1) いくつかの要点

・「地下教会」にあらず

公に礼拝を守っているので「地下教会」ではない。家庭教会の「公開化」は2006年、北京の家庭教会である守望教会*が政府に対し登記を求め始めて以来さらに進む。

むろん合法的地位を得ているわけではなく、ある線を超えると公安の取り締まりの対象となる。

・集会所は多種多様

家庭集會、マンションのワンフロア、会堂、野外礼拝を余儀なくされているなど様々

・教会の数、会員数は専門家もつかんでいない

・神学的、階層的にも極めて多様

インテリ中心から労働者中心まで／改革派からエヴァンジェリカルまで

・神学教育、教理教育の不統一。限りなく異端、カルトに近い教会もある。

＊基督教北京守望教会：清華大学理学部4年生時に天安門事件に遭遇、それが直接のきっかけとなってキリスト教に入信した金天明（現牧師）が1993年に自宅で家庭礼拝を開始。福音主義改革派教会的教会形成を目指し、教会の社会的責任を重視。政府からは「基督教非合法組織」として扱われ、ウェブサイトの閉鎖、礼拝場所の大家への圧力が原因で引っ越しを余儀なくされるなど様々な妨害を受けている。2009年に2700万元で購入したビルの鍵はいまだに渡されておらず、やむを得ず野外で行っている礼拝もしばしば妨害されている。金牧師は2011年以降自宅軟禁におかれたまま。

2) 武漢市洪山福音堂の例

家庭教会から公認教会になったばかりの教会

雰囲気は家庭教会当時のまま。公認教会と明らかに異なる。

福音派的。礼拝はバンドがリード。説教はオーソドックス。贖罪に力点を置く説教。

家庭的。若い層の活動が活発。毎週礼拝後は、青年会や婦人会、壮年会が順番に昼食担当。

礼拝以外の活動がさわめて盛ん。読書会。聖書研究会。讃美歌練習。

国際的 → 台湾人長老が指導する聖書研究会。身分は在外研究者。

朝鮮族の牧師の人脈から韓国人クリスチャンの訪問が絶えず、韓国教会とも交流。

没政治的

・なぜ家庭教会から三自愛国教会になったのか？

伝道が自由にできる

十字架を掲げることができる

三自愛国教会に登録されたことによって自由がなくなると心配する声もあるが、むしろ安心して伝道活動に専念できるメリットの方が大きい。

物件を安定的に賃貸し続けることができる。

3) 「六四」（1989年）と家庭教会

公認教会牧師のA氏

北京の家庭教会で牧師を務める友人、香港中文大学で出会った成都秋雨之福教会長老王怡氏

→これら3人の私の友人、知り合いは、天安門事件を機にキリスト教に接近し、召命を受けて牧師となる。（王怡氏は天安門事件25周年にあたる今年の6月4日、いきなり逮捕、拘留された）

4) 教会の社会的責任について

守望教会の金牧師、秋雨之福教会の王怡牧師ら、「改革派」の家庭教会は教会の社会的責任の実践を重視。 貧困問題・留守家庭問題・人工妊娠中絶問題・教育問題など。

*昨年児童の日、王怡牧師の秋雨之福教会は成都市内で人工中絶に反対するパンフレットを配布。公安に制止され、用意した冊子をすべて押収された。

*報告者は香港のクリスチャンが出資した不登校児のフリースクール（湖北省）を訪問。

3. 香港の位置づけ

①専門的な神学教育の場を提供

大陸の神学教育の水準は低く、ヘブライ語、ギリシア語教育ができる教員スタッフはほんの一握り。多くのインテリが家庭教会に向かうのは、三自愛国教会の学術レベルの問題にもよる。

報告者は昨年度以下の神学研究拠点を訪問した。

・ 建道神学院（アライアンス系）

北京語による短期集中コース。家庭教会からも三自愛国教会からも若い牧師を受け入れている。

ビザの取得が大きな問題。

・ 香港中文大学崇基学院

多くの大陸からの留学生（主に博士課程の学生）を受け入れ、臨機応変に北京語で授業。

・ 中国神学研究院（神学大学院）

家庭教会の牧師による集中講義が毎年行われている。大陸からの留学生も多数。

②大陸の教会の状況、特に家庭教会の状況を知るための情報の拠点

おわりに

中国キリスト教の三つの深刻な課題と重い使命

- ・ 低水準の神学教育
- ・ 牧師不足
- ・ 民主化問題

参考資料一覧

余傑『誰為神州理舊疆?』基文社、2010年

王志勇『中国改革與清教徒精神』基文社、2011年

王艾明著 松谷曄介訳『王道 21世紀中国の教会と市民社会のための神学』新教出版社、2012年
 王再興「現代中国におけるキリスト教」『一神教学際研究』8、同志社大学、2012年
 鄧穎翹『北京新興家庭教会研究』建道神学院、2013年
 陳智衡『合一非一律 中華基督教会歴史』建道神学院、2013年
 「浙江拆十字架風暴」『亞洲週刊』2014年8月17日 第28卷第32期
 「浙江再拆十字架三自教会分裂」『同』2014年8月31日 第28卷第34期
<https://www.facebook.com/prayforshouwang>
<http://www.economist.com/news/briefing/21629218-rapid-spread-christianity-forcing-official-rethink-religion-cracks> (2014/11/2取得)